

女性委員会の活動目的
女性組合員の交流・ネットワークづくり
男女共同参画社会の推進

2026年3月27日

連合福井福井地域協議会
発行責任者 竹中智彦/榎 明美

2026年度第1回セミナー「自分だけのオリジナル和菓子を作ってみよう」

2月21日(土)、丸岡家の竹内健人様を講師にお迎えし、第1回セミナーを福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)にて開催いたしました。当日は39名の皆様にご参加いただきました。初めての開催となった本セミナーでしたが、多くの方々にご満足いただけたものと感じております。

セミナーでは、竹内先生の軽快でわかりやすいご指導のもと、餡や砂糖、和菓子作りに用いる道具などの基礎知識に加え、季節や福井県の花にまつわるお話まで、幅広く楽しく学ぶことができました。

体験では、餡の柔らかな感触や繊細な扱いに緊張しながらも、専門の道具だけでなく、身近な道具も使って和菓子に表情をつける面白さを実感しました。「和菓子はどのような表現でもよい。しかし、同じものを100個なら100個きちんと作れることが職人の条件」との先生のお言葉どおり、思い描いた表現を形にする事の難しさを体感し、職人の技の素晴らしさを改めて感じる機会となりました。

当日は初対面の方々がほとんどでしたが、それぞれの個性が表れた和菓子について言葉を交わし、交流を深めることができたことも、大変嬉しく思っております。今回のセミナーを通して、「学び」「体験」「味わい」の三拍子がそろった、充実したひとときを過ごすことができました。 記事：岩崎副委員長



講師：お菓子処 丸岡家
竹内健人さん



各テーブルの作品



開会あいさつ
橋邊委員長



司会進行
榎事務局長



閉会あいさつ
岩崎副委員長



会場内和菓子作りの様子

3.8 国際女性デー特別企画

3月7日(土)に、「3.8 国際女性デー」の周知・啓発を目的とし、福井・丹南・嶺南の3会場をWEBでつなぐサテライト方式で講演会を開催し、福井会場には40名の方が参加されました。講師には、漢方カウンセラーの青木優加氏を迎え、「漢方との出会いと養生デザインに至るまで」と題してお話いただきました。講演の中で、一番心に残った内容は、「今日やめる 養生を1つ」のお話でした。頑張り過ぎてしまう日常生活から、何か1つ「やめる」という勇気こそが自分への労り、つまり「養生」だという内容でした。女性の活躍が進んでいる中で、頑張り過ぎている女性に、是非聞いてほしい内容だと感じました。あっという間の講演会で、もう少し時間があると、漢方についての講演も聞くことができたのではないかと感じました。青木先生ありがとうございました。

続いて、ワークショップ「ミモザを用いたミニスワッグ作り」を行い、講師に勝山市の三姉妹のお花屋さんhiromiから、松田瑞恵さん、黒田ひかるさんをお迎えしました。スワッグとは、ヨーロッパ発祥の花や葉を束ねた壁飾りのことで、魔除けや幸運を運んでくれるという意味を持ち、玄関や室内に飾る習慣があります。国際女性デーのシンボルの花「ミモザ」の匂いを楽しんだり、手触りを感じたりしながら製作に励んでいました。

作り方は、ユーカリを軸として、ミモザの茎を交互に重ね合わせながらティアドロップ(涙のしずく)の形になるように組み合わせていきます。バランスよく配置を考えていくのが難しく、講師の方にアドバイスをいただけてうまく仕上げることができました。

同じ材料でもそれぞれの個性が出たスワッグが出来上がったようです。最後に、出来上がったスワッグとともに、記念写真を撮りました。家に持ち帰った後、ドライフラワーに変わっていく過程も楽しみたいと思います。 記事：竹内委員



基調講演



佐々木委員長
開会あいさつ



基調講演進行 渡邊委員



ワーク進行 竹内委員



ミモザスワッグ作り



集合写真